

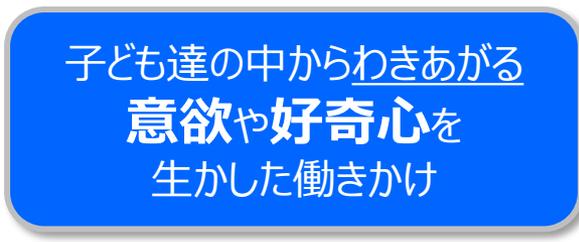
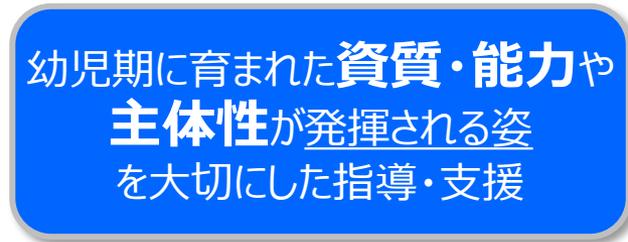
リーディングDXスクール事業【実践事例】

鳥取市立若葉台小学校（鳥取県）【指定校】

【取組内容】 小学校教育スタート期における探究的な学びと一人一台端末の活用



1年生のスタートカリキュラムの時期は、**幼児期に育まれた資質・能力**や、**主体性が発揮される姿**を特に大切にしながら、子ども達の中から**わきあがる意欲**や**好奇心**を生かした働きかけに重点を置くことで、主体的な学びにつながるようにする。



子ども達は次第に、「**もっと考えたいな。**」「**他にはないか考えてみよう。**」という**思い**をもち、自分で考えたり周りの人にヒントをもらったりして**課題解決**していくようになった。

本校では、これらの姿も**探究的な学びにつながる姿**と捉え、このような学びを支えるための**一人一台端末の活用**を進めている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鳥取市立若葉台小学校（鳥取県）【指定校】

【取組内容】 小学校教育スタート期における探究的な学びと一人一台端末の活用



先生、タブレットで
写真を撮ってもいいですか？

4月中旬

タブレット端末を使うときの約束について学習し、その後、**心と体の健康観察**のために端末を活用しながら**Google Classroom**や**Google Forms**などの使い方に慣れるようにする。

5月上旬

端末の**カメラ機能**や**写真編集機能**を学習の中で少しずつ取り入れる。

5月中旬

端末の持ち帰りとともに**Google Classroom**での**連絡・おたより配信**を始める。

端末活用に慣れてきた頃、休憩時間、あさがおの芽が増えたことに気付いた子ども達は、課題の解決に向けて最適な方法を見つけ、自ら動き出した。

手で書く・描くことも大切にしているが、端末を学習道具の一つとして使うことで学習方法の幅が広がっていることも間違いない。

アナログとデジタル、両方のよさを取り入れながら、**探究的な学び**につながる学習を展開することで、**子ども達自らが最適な方法を選択して課題解決していく力**も育む。